

# 22

## ■日本海の砂浜にシギ・チドリが集う

### 四ツ郷屋浜～越前浜 (巻町)

■環境：海岸  
 ■対象：一般  
 ■期間：4月下旬～5月中旬  
 9月上旬～10月中旬

日本海に面した新潟県の海岸線は長く、350kmに及ぶ。その中間よりわずかに北側に四ツ郷屋浜がある。その約5km幅20～50mの砂浜に、春と秋、日本海を南北に旅するトウネン、ミユビシギなどシギ・チドリの仲間が羽を休めていく。

#### 〈餌場としての渡来地〉

日本海側の海岸線は潮の干満がほとんどなく、干潟もないため、太平洋側に比べシギ・チドリ類の渡来が少ないと言われている。その中で、ここ四ツ郷屋浜～越前浜の海岸線は細かな砂浜が続き、波打ち際にはナミノリソコエビ等のヨコエビ類、ヒメスナホリムシ、フジノハナガイ、砂浜にはスナガニが数多く生息し、シギ・チドリ類のまたとない餌場となっている。そのため、春と秋、日本海を南北に旅するシギ・

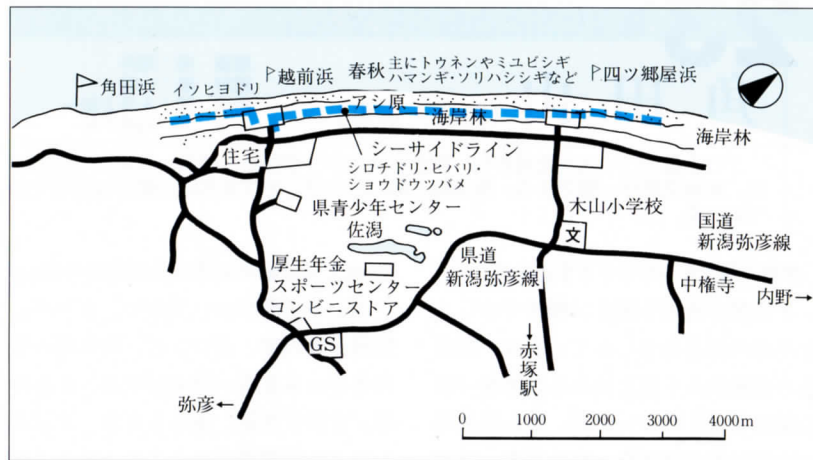


餌を探すオオソリハシシギ

チドリ類が疲れた羽を休める絶好の場所となり、海岸線もなだらかなため比較的多くの鳥を観察できるのである。

#### 〈シギ・チドリ類の観察される時期〉

砂浜から草地に移る傾斜地でシロチドリが繁殖し、通年見られる。数や種類が多いのは春と秋の渡りシーズンで、波打ち際にシギ・チドリの忙しそうな姿が数多く見られる。春は4月下旬から5月中旬まで、特に4月下旬、そして秋は9月上旬から10月中旬、特に9月下旬に多く見られる。春と秋では秋の方が、種類も個体数も多い。観察される種類は、数十羽～百羽のトウネンとミユビシギの群れを中心にシロチドリ、ハマシギ、キョウジョシギ、イソシギ、ソリハシシギ、オオソリハシシギ等で、これらに交じり比較的珍しいといえるオジロトウネン、アメリカウズラシギ、サルハマシギ、コオバシギ、アカアシシギ、コアオアシシギ、オオメダイチドリ等が観察されることがある。特に砂浜に長さ100mほどの水たまりができるとその周辺にシギ・チドリ類が採餌を求めて飛来してくるの



で、じっくり待って観察する格好の場所となる。

砂地は案外硬く、しまっているの、運動靴でも歩きやすい。シギ・チドリを見ながら波打ち際の砂をすくい、餌のヨコエビ類を観察するのも面白い。ただし最近、休日ともなると砂浜をRV車が駆け抜け、探鳥の妨げになることもある。

#### 〈冬の海岸線〉

シギ・チドリ類が渡り終えた荒々しい日本海。実はこの季節にも珍しい鳥に会える機会がある。砂浜では、ユキホオジロ、ハギマシコ、マヒワ、ベニマシコ等、海上にはピロードキンクロ、クロガモ、ウミスズメ類。そして海岸には冬の荒波に負け命を失ったウミスズメ、コウミスズメ、フルマカモメ、ハシボソウミガラス等が打ち上げられ

ることもあり、海で生きていく厳しさを実感させられる。

(小野島学)

#### メモ

**交通** 四ツ郷屋浜へは、JR内野駅から「四ツ郷屋行き」バスで終点。越前浜へは、巻駅から「浦浜行き」バスで「越前浜」下車。いずれも徒歩5分。バスは1日5、6回の運行なので注意。  
 四ツ郷屋浜、越前浜共に広い駐車場あり。健脚は海岸線を歩いて往復してもよいが、片道の場合2台以上で行き、あらかじめ両方の浜に駐車しておくと便利。トイレは各駐車場にある。  
**探鳥会** 「にいがた野鳥の会」で毎年9月上旬に開催。  
 問い合わせ：にいがた野鳥の会事務局 ☎(025)266-8972 伊藤泰夫  
**道草** 越前浜には通年営業している浜茶屋があり、うまいカニ汁を楽しめる。